

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年5月15日

【四半期会計期間】 第52第1四半期（自平成27年1月1日至平成27年3月31日）

【会社名】 株式会社スノーピーク

【英訳名】 Snow Peak, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 山井 太

【本店の所在の場所】 新潟県三条市中野原456番地

【電話番号】 0256-46-5858（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員社長室長 國保 博之

【最寄りの連絡場所】 新潟県三条市中野原456番地

【電話番号】 0256-46-5858（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員社長室長 國保 博之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年5月14日に提出いたしました第52期第1四半期（自平成27年1月1日至平成27年3月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、本書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年3月31日）における世界経済は、米国の個人消費・設備投資が増加し着実な景気回復が進み、欧州では持ち直しの傾向が見えた一方で、中国をはじめとした新興国経済は弱さがあるものの、全体としては緩やかな回復が見られました。わが国経済におきましては、企業収益や個人所得に改善が見られ、円安を背景とした株高もあり、総じて緩やかな回復傾向となりました。アウトドア市場におきましても、底堅く推移しました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、当社の強みである「つくる」「つながる」をキーワードに、積極的な事業展開を行いました。

国内におきましては、年始の初売りキャンペーン、2月から3月末にかけての上場謝恩セール等、積極的な販売施策で、例年より早く新規顧客の獲得を狙うとともに既存顧客の掘り起こしを行い、売上高は大きく伸長いたしました。3月には、東京都昭島市に、キャンプの楽しさを満喫できるレストラン「Snow Peak Eat」を併設した初めての直営店「スノーピーク昭島アウトドアヴィレッジ」をオープンいたしました。「五感で味わう、野生の贅沢」をコンセプトに、四季折々の恵み豊かなアウトドア料理を提供し、食を通じた新たなアウトドアライフスタイルを提案しております。また、インスタアを1店舗、ショップインショップを2店舗出店し、引き続き販売網の強化に努めました。

2015年の新製品の販売は順調に推移し、アパレルにつきましては、2014年秋冬の販売に注力するとともに2015年春夏の新作をリリースいたしました。

海外におきましては、オートキャンプ熱の高まる台湾市場において引き続き売上高が伸長し、米国市場におきましても堅調に推移いたしました。韓国におきましては、市場環境が不安定ななか、2015年新製品説明会を直営店で実施する等、お客様の来店を促進するプロモーションを行い、中長期的な成長を見据えた新規会員の獲得に注力いたしました。

当社グループの主な製品はオートキャンプ用品であるため、春から秋にかけて売上が増加する傾向にあり、冬期を含む第1四半期と第4四半期は売上が減少するとともに利益が出にくい傾向にありますが、これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,561,677千円と過去最高を記録し、営業利益18,978千円、経常利益1,698千円、四半期純損失28,566千円となりました。